



かけはし

青の2組
～秋のダイナミックワールド号～

「秋のダイナミックワールド」において、青の2組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。各クラスの「かけはし」は、本園Webサイト「園からのお便り」のページにも掲載する予定です。よろしければ、ぜひ、他クラスの遊びの様子もご覧ください。

一学期に、世界のお祭りについて探究した子どもたち。どのお祭りにも意味や願いがあることや、いろいろな国のお祭りの特徴や違いなどを知りました。「青の2組のお部屋を、世界のお祭りでいっぱいにしてよ」という声をきっかけに、世界のお祭りにちなんだ遊びがたくさん生まれました。また、一学期に探究をすすめるなかで国旗に詳しくなり、「国旗クイズ」を出し合っていた経験や、「青組スペシャルデー」で科学館に行った際の経験から発展していった遊びもあります。

★ インド「ホーリー祭り」の色粉で飾りをつくってみよう ★

色粉や色水をかけ合い豊穣祈願をするインドのお祭りをヒントに、色粉を使って何かをつくりたいという子どもの声から生まれた遊び。自分たちで色粉をつくり、いろいろな場所に飾れるような飾りをつくろうというアイデアができました。



砂に絵の具を混ぜたら色粉ができるのでは…と考えた子どもたち。実際つくってみると、ホーリー祭りで使うような、カラフルな粉がたくさんできました。



いろいろな形に切った紙にポンドを塗り、その上から色砂をかけていきました。ポンドが少ないとあまり色がのらず砂がまばらに…。



ポンドを紙の表面全体にしっかり塗ってみると…色粉がたくさんついて、きれいな色の飾りが出来ました。

★ 国旗カードゲーム ★

一学期に国旗を描いたり、国旗カルタをしたりしていた子どもたち。それぞれの国で大切にされているものや有名なものを探究した経験をいかし、オリジナルの国旗カードをつくり遊びだしました。



国旗カードがたくさん出来上がりました。これらのカードを「国旗カルタ」みたいな遊びに使えないかと考えた子どもたち。



国旗カードの裏にその国の有名なものを絵で描き、それをヒントに国名を当てるといったゲームが生まれました。



つくった国旗カードで遊んでみると、絵だけだとヒントがわかりづらいという声。どうしたらヒントが伝わるか、試行錯誤中…。

★ タイ「ピーターコーン祭り」のおばけシアター ★

「お祭りといったらおばけ屋敷！」という子どもたち。おばけといえば、一学期に「青組スペシャルデー」で科学館に行った際、自分で色を塗りデザインしたおばけが、スクリーンに映し出されたことを思い出したようで、クラスでもやってみようという声があがりました。タイでは雨乞いや厄払いのためにおばけ（精霊）に仮装してパレードをする「ピーターコーン祭り」があることを知り、スクリーンの中にたくさんのおばけを映そうと盛り上がっています。



これだとたくさんのおばけを映せないね



太陽のパワーってすごい！



どうしたらスクリーンに絵が映るのか、懐中電灯の光を使って実験を始めた子どもたち。懐中電灯だと照らせる範囲が狭いことや、光の力が弱いことに気づき苦戦。

晴れた日にたまたまスクリーンを園庭付近の廊下に置いておいたら…「あっ、絵が映ってる！」と大喜びの子どもたち。太陽の光を使ってスクリーン全体に絵を映しだすことに…。

お客さんがおばけの塗り絵をして自分のおばけを映しだせるようにしたいという子どもたち。今は、原画を子どもたちが描き、自分で塗ったおばけをスクリーンに映して「ピーターコーン祭り」を再現しています。

★ ドイツ「ハンブルガー・ドーム祭り」のボールゲーム ★

日本と外国のお祭りの屋台には違いがあるのか気になり、調べてみました。すると、ドイツには千年前から続く「ハンブルガー・ドーム」という、ドーム（大聖堂）に屋台やマーケットが並び人々が楽しむお祭りがあることを知りました。そのなかにあった屋台のボールゲームをつくりたいという声から始まった遊び。



段ボールを繋げて、ボールを転がすレーンをつくり、転がしたボールがレーンのゴールの穴から下へ落ちるように工夫。落ちたボールがレーンの下を通過して手元に戻ってくる仕組みをつくるために、レーンの下に坂道をつくることに…。



坂が急だとよく転がるね！



よく丸めてボールをつくろう！

段ボールでつくった坂道をレーンの下に入れてみましたが、ボールが途中で止まってしまううまくいかず…。どうしたらボールが手元に戻るのかみんなで知恵を出し合っています。

坂道の角度が急な方が転がりやすいこと、丸くて転がりやすいボールをつくったほうがよいことに気づいてきました。しかし、まだ、思うようなレーンはできず…試行錯誤は続いています…。

